浄土寺だより

派舎
寺精
願本
本根
宗宗
真真
土見
浄石

ともしび

平成26年6月号　*Vol55*　発行日　１６０６０６
〒６９９－４６２１
島根県邑智郡美郷町粕渕３５４
浄土寺 門信徒会
TEL　0855―75―0064　FAX　0855―75―0264

大法要を終えて　浄土寺住職　西原真公

四月二十三・二十四日と無事、親鸞聖人七五〇回大遠忌、本堂内外修復慶讃、浄土寺開創七百年記念、第二十五世継職奉告の大法要を円成できましたこと、厚く御礼申し上げます。

この記念事業は、ご門徒の皆さまや地域の方々の支え、ご協力の下により厳修することができました。大変有難く、深く感謝しております。特にスタッフの皆様には前日の準備から当日の役割・担当を一〇〇％完璧に遂行し大変素晴らしい法要ができたこと、住職として言葉に表現できないくらい嬉しく、感激しております。誠に有難うございました。

七百年の歴史がある浄土寺の住職として、重圧を感じながらも、御法義の繁盛ならびにお寺の護持発展に尽力し、邁進いたします。

しかし浄土寺を取り巻く環境は厳しく、過疎、少子高齢化の真っ只中であります。これまで通りにはいかない現実の中で、門信徒、地域の皆さまと共に、新たな一歩を踏み出す決意であります。開かれたお寺、誰もが気軽に行けるお寺を目指して、浄土寺が地域のお寺として、心の拠り処であるよう勤めてまいりますので、今後とも皆さまのご指導や叱咤激励、お育てを賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

尚、法要の決算、修復懇志進納者最終一覧表は次回のともしびでご報告致します。合掌

月々のことば

五月二十二日(日)降誕会法要
親も子も
アミダの子なり　初参式

六月十二日(日)　永代経
仏法は賢くなる道と思ったが
愚かさに気づかされる道でした

七月十六日(土)安居会法座
アミダさまに抱かれて
臨終の善し悪し用事なし

八月十九日(金)盆法座
最も恐ろしい武器は
握りしめた「正義」かもしれない

九月二十三日(金)秋彼岸法座
救われようのなかった私に
「そのまま救う」とアミダさま

十月十六日(日)芋法事
本堂には　亡き父母の
お念仏が染み込んでいる

大法要を振り返って！

初参式 五月二十二日(日)

宗祖降誕会法要（親鸞さまのお誕生お祝い法座）に当たり浄土寺本堂に於いて浄土寺聞信仏教婦人会の主催で、（赤ちゃんから二歳くらい対象）が五月二十二日（日）に行われました。

当日は赤ちゃんの手形足形の記録採取が仏婦副会長さんにより行われ午前十時から式が始まりました。今年は

置名　結月
（おきな　ゆづき）ちゃん

齋藤　由芽
（さいとう　ゆめ）ちゃん

松浦　想
（まつうらそう）ちゃん

藤原　朔弥
（ふじはら　さくや）ちゃん

坂元　茜
（さかもと　あかね）ちゃん

曽根　一華
（そね　いちか）ちゃんの6名のお参りでした。ありがとうございました。

来年も是非とも、仏縁に会う初参式をお受けになるようお勧め致します。当日は赤ちゃんの手形足形の記録採取や記念品を贈ります（昨年の一月以降にお生まれになった赤ちゃん対象）。

平成二十七年度浄土寺聞信仏教婦人会総会

二月二十八日（日）午前十時より浄土寺聞信仏教婦人会の総会が開催されました。真宗宗歌斉唱のもと厳かに開扉となり、十二礼で始まり、予決算、活動方針を決めて、ダーナ献金に続き、邑南町増渕の武田昭文先生よりご法話をいただき、尊いご縁にあいました。先生はスクールカウンセラーでもあり臨床心理士の資格もあり、今の子どもの現状を通してお話しをして頂きました。

当日は恒例の会員手作りのお弁当で懇親会を行い、講師先生も出席され大いに盛り上がりました。

伝灯奉告法要　団体参拝募集！

10月より第二十五世専如門主伝灯奉告法要が始まります。佐波組でもこの度のご勝縁に遇うべく**来年5月**に団体参拝を計画しました。佐波組では**80名の定員**となり、**締め切りは6月末**となっています。ご希望の方はお早めにご連絡下さい。案内状の中に申込用紙を同封しています。そちらにご記入し浄土寺までお持ち下さい。（詳細は別紙を参照）

本山で帰敬式（おかみそり）もあります

帰敬式とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮を送ることを誓う、私たちにとって最も大切な儀式です。ご門主さまより法名が授与されます。是非ともこの度のご縁に帰敬式を受式し、共にお念仏を喜ぶ人生を歩みましょう。

經聶奉告泓西とは？

正式には住職継職奉告法要(じゅうしょくけいしょくほうこくほうよう)です。

法灯継承とも呼ばれます。法灯とは、法の灯。法とはお釈迦さまの教え、それが私たちの前に、浄土真宗として、親鸞聖人のことば、教えとして現われ出ているものです。その教えが、灯となる。灯とは、真っ暗闇を照らす大切なものです。停電して、明かりがなかったら、真っ暗な中では、私たちは何も見ることができません。

私たちの人生も生きる指針がなかったらどこに行くかわかりません。糸の切れた風船のようなものです。行き当たりばったりのその時さえ良かったらいいという自分勝手な生き方になってしまいます。そんな私たちに、人生の生きる道筋を照らし、方向性を示してくれる大切なものです。それが教えです。法灯継承とは、その大切な灯（教え）を継承していくのです。

伝灯奉告法要

親鸞聖人があきらかにされた「浄土真宗のみ教え」が、聖人から数えて第二十五代となる専如ご門主に伝えられたことを、仏祖の御前に告げられるとともに、お念仏のみ教えが広く伝わることを願い、奉告法要が平成28年秋から29年春にかけて、80日間勤められます。

おさそい　案内

平成28年6月12日晩席　21日日中

浄土寺総永代経法要

講師　波積　光善寺

波北　顕真　師

六月十二日

納骨堂・本堂　**永代経納骨堂法要**

昼一時　法話　前席

二時半　**永代経開闢法要**　法話　後席

▽▲▽▲▽　お知らせ　▲▽▲▽▲

納骨堂入所募集並びに合同墓希望者募集！

浄土寺では昭和四十二年以来、持仏堂を納骨堂として兼用し、今日まで多くの方にご利用頂いております。現在、76基中18基の空きがあります。まだ余裕がございますのでご検討してみて下さい。納骨堂は門信徒の方々にご利用頂くことによって、浄土寺の護持とご法義の繁盛に大きく貢献するものであります。

今後は納骨堂と併せての合同墓をも検討してまいります。今のところ、どのくらいのご要望があるか推測できずにいます。興味、ご希望がありますればお寺にお尋ねください。

浄土寺の平成二十八年度の主な行事

一月・元旦修正会（一日午前）年始
　御正忌（十六日）十五日晩大逮夜
二月・仏婦総会（二十八日）武田正文師
三月・初法座（十六日）住職
　春彼岸法座（二十一日）住職
四月・新入生お祝い会　並びに
　花まつり子ども会（七日）
・親鸞聖人七百五十回大遠忌法要
・本堂内外大修復落慶法要
・浄土寺開創七百年記念法要
・第二十五世継職奉告法要
　講師　本願寺勧学　林　智康師
五月・降誕会法座（二十二日）・初参式
六月・永代経法要（十二日）　波北顕師
七月・安居会　（十六日）佐々木俊教師
八月・盆法座　（十八日）今田善行師
九月・秋彼岸（二十三日）三瀧香順師
　前々坊守祥月命日・前住職追悼法要
十月・芋法事（十六日）仏婦例会も兼ねる
十一月・報恩講（二十日晩～二十一日）
　講師　六日市　朋澤智弘師
十二月・四季講（十七日）歳末法座と兼ねる
　講師　楠　淳證先生　仏婦の報恩講とする
大晦日（三十一日）除夜の鐘つき
　十一時半から

永代経懇志上納された方々

【平成二十八年六月一日現在】

（平成二十七年十一月から平成二十八年五月まで）

慈敬院釋和順（俗名：山田　和子）施主　千原　山田　昇　殿

忝なくお受けし教化の資とさせて戴きます

永代経懇志とは故人が今生でお念仏に遇い、往生の素懐を遂げた証であり、この境涯での形見を上置きとして遺す意味であります。

勿論、亡き人の永代に亘る読経法要の布施ではありますが、故人の倶会一処の「願い」が永代に亘り鳴り響き、子々孫々まで「お念仏のいのち」が繋がれて往く事になるのであります。

浄土寺では還浄された故人の尊名と法名を永代まで法名軸に奉安顕彰し、永代に亘る祠堂読経のご懇念としてお受けさせて戴いています。

▲▽▲▽　お知らせ　▲▽▲▽▲

東日本　熊本大震災に支援金を！

平成二十三年三月の東日本大震災から五年、今年四月には熊本地震、少しでも被災された方々と寄り添っていくにはどうすればよいか、『絆とは、忘れないためには？』と考えた末、法要毎に「大震災支援金」を募っております。これはボランティア活動や復興支援活動等の経費に充当するための支援金です。お参りの際はよろしくご協力をお願い致します。